

先日は手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録のレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回4月のてがたんは、4月12日(土)で、「てがたんコースの今昔」がテーマです。この4月で10周年を迎えるてがたん。身近な自然がこの10年でどのように変化してきたのか振り返ります。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

\*市民スタッフの方へ 次回のとがたん下見は、4月5日(土)の9:30からです。よろしくお願いたします。

### 3月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→市民農園前→けやき広場→親水広場(解散)
- 観察日時と天気：2014年3月8日(土) 10:00～12:00 晴れ
- 参加人数：31人(大人17人、こども14人)
- 市民スタッフ：10人(染谷迪夫、蒲田知子、大嶽若緒、岡廣志、木村稔、窪田憲史、小泉伸夫、竹本周平、松村定雄、水上香苗)
- 鳥博職員：2人(小田谷嘉弥・村松和行)

### 観察した生き物の記録

#### 【鳥類】

カモ科：カルガモ、オナガガモ、コガモ/カイツブリ科：カイツブリ、カンムリカイツブリ/ハト科：キジバト/ウ科：カワウ/サギ科：アオサギ、コサギ/クイナ科：オオバン/カモメ科：ユリカモメ、セグロカモメ/タカ科：トビ/ハヤブサ科：ハヤブサ/モズ科：モズ/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/メジロ科：メジロ(声のみ)/ムクドリ科：ムクドリ/ヒタキ科：ツグミ/スズメ科：スズメ/セキレイ科：ハクセキレイ/アトリ科：カワラヒワ/ホオジロ科：ホオジロ(声のみ)、アオジ(声のみ)、オオジュリン

#### 【昆虫】

コガタリハムシ、ナナホシテントウ、カイガラムシの仲間、イラガ(まゆ)、アブの仲間

#### 【魚類】

ミナミメダカ、タモロコ?(モズのはやにえ)

#### 【花】

ハルノゲシ、セイヨウタンポポ、オニタビラコ、ノボロギク、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、ナズナ、タネツケバナ、コハコベ、オランダミミナグサ、オオイヌノフグリ、ヤブツバキ、ウメ、ビワ

# 観察した生き物の記録



今回のてがたんのテーマは「春をさがそう」でした。陽だまりに咲く花や繁殖の準備をする鳥の行動を観察しました。



今月の案内人 染谷迪夫さん、蒲田知子さん



②道端に咲いていたホトケノザ



③ギシギシについていたコガタルリハムシ



④上空を旋回していたハヤブサ



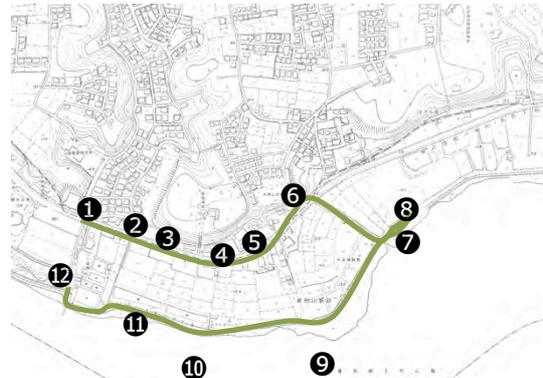
⑤さえずりが聞かれたスズメ



⑥ユリカモメの若鳥が何者かに食べられていた



①地面近くは太陽光で温められるため、気温が高い。この日の気温は8℃だったが、地面は17℃もあった。



歩いたルートと観察した生き物



⑦頭が黒くなってきたオオジュリン。もうすぐ繁殖地に旅立ちます。



⑧ハシブトガラス。眼が白く見えるのは瞬膜を閉じているため



⑨首にオレンジ色の夏羽が生えてきたカムリカイツブリ



⑩沼の上を飛び回っていたオナガガモ



⑪嘴がピンク味を帯びてきたアオサギ



⑫モズのはやにえになったタモロコ(?)

## 今月の鳥 ウグイス

スズメ目ウグイス科

ウグイスは全身緑褐色の小鳥で、春になると美しい声で「ホーホケキョ」とさえずることから、古来から「春告鳥」という異名でも呼ばれています。ウグイスは一夫多妻で、1羽のオスのなわばりの中に複数のメスが入ってきて、メスは1羽で子育てを行います。近年雑木林の手入れがされなくなり、住みかとなるササやぶが増えているため、ウグイスの数は各地で増えているようです。ウグイスのさえずりが聞けるまであとわずか。もうすぐ春がやってきます。



さえずるウグイスのオス

てがたんにご参加ありがとうございました。次回もお待ちしております。